

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 460

事務事業名	よし川都市基盤河川改修事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	杉本 久幸	内線	435

基本目標		安全・安心なまち
政策	030101	災害に強いまちづくり
施策		防災対策の推進
関連施策	050303	公園・河川の整備

会計	1	一般
款	8	土木費
項	3	河川費
目	1	河川改良費
事業コード	030100	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	よし川水系河川整備計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	二級河川よし川沿線住民、並びにその沿線の土地・財産		
意図 対象をどのような状態にしたいか	よし川は河積が小さいため、過去に幾度となく洪水・氾濫・冠水(近年では昭和57年7月・平成7年7月・9年7月・11年7月・15年7月)等の被害を受けており、このように洪水被害が相次いでいることから、抜本的な治水対策として、50年に一度程度の確率で発生する規模の雨量を、安全に流下させることの出来る河川改修を行う。また、護岸等を自然の生態系に配慮した工法で実施することにより、小動物・魚類・植物等の生息・成育の場を保全する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	全体計画 計画降雨強度確率年 50年、流下能力=基準点(石走り橋)計画高水量50m ³ /s 計画延長L=1, 895m、掘削V=58, 100m ³ 、護岸A=10, 310m ² 、利水ポンプ所N=3ヶ所 防潮堰N=1ヶ所、河畔緑地N=2ヶ所(2, 000m ²) 付帯工(国道橋 1橋、JR橋 1橋、県・市・農道橋 9橋 計11橋)		
事業期間	平成 10 年度 ~ 平成 35 年度	実施方法	直営

成果指標名	よし川流域の治水対策安全度=整備率			算定式等 河川整備率=整備済み額/全体総事業費
着手前現状値	平成 24 年度	単位	%	
完了後計画値	平成 35 年度		100	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	28,056						28,056
	項目別進捗率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
実施設計	実績・計画額	228,860		3,035	19,612		6,000	15,000
	項目別進捗率	50.01%	50.01%	50.67%	54.95%	54.95%	56.26%	59.54%
用地・補償	実績・計画額	414,200	10,672	3,321				7,000
	項目別進捗率	56.72%	58.18%	58.63%	58.63%	58.63%	58.63%	59.59%
建設工事	実績・計画額	981,753	122,378	63,214	203,768	171,000	153,000	144,000
	項目別進捗率	39.71%	44.65%	47.21%	55.45%	62.37%	68.56%	74.38%
事務費等	実績・計画額	82,786	2,380	1,540	11,205	8,400	8,000	4,000
	項目別進捗率	43.25%	44.50%	45.30%	51.16%	55.55%	59.72%	61.81%
合計	実績・計画額	1,735,655	135,430	71,110	234,585	179,400	167,000	170,000
	項目別進捗率	44.73%	48.22%	50.06%	56.10%	60.73%	65.03%	69.41%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	166,074	135,430	71,110	234,585	179,400	167,000	170,000	3,880,000
国庫支出金	54,407	44,350	23,190	74,460	57,000	53,000	53,000	1,268,000
県支出金	54,407	44,350	23,190	74,460	57,000	53,000	53,000	1,268,000
地方債	53,900	43,000	22,200	77,000	58,800	54,900	57,600	1,209,600
その他								
一般財源	3,360	3,730	2,530	8,665	6,600	6,100	6,400	134,400
② 人件費(千円)	10,322	8,754	8,778	8,448	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	1.10	1.11	1.10	1.08	上下部工(国道橋) 護岸工(1工区) 農道橋	上部工(国道橋) 下部工(堰) 護岸工(2工区) JR橋詳細設計	上・下部工(堰) 護岸工(1工区) JR橋詳細設計	(B)12,508百万円
時間外勤務(時間)	790	183	510	297				(C) 4,095百万円
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	176,396	144,184	79,888	243,033				B/C = 3.1

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 <small>昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)</small>	27年度は、1工区の国道橋架替(負担金)の協定を結び迂回路設置工事及び、2工区(新幹線交差部)改修工事を実施。28年度は、27年度に引き続き国道橋架替また、JR橋架替の概略設計を実施し、よし川の流下能力の向上を図る。
事業が抱える問題・課題等	財政状況を踏まえつつ、今後数年間、国道橋架替、新幹線交差部の河川改修、JR橋架替、農道橋架替、堰と多くのメニューを計画的に実施する必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	よし川は河積が小さく、近年幾度となく洪水・氾濫・冠水の被害が発生している。そこで、河川周辺住民の生命・財産を災害から守り、さらに安全で快適な地域となるよう、よし川の治水対策と併せて、川を持つ特有の環境に配慮した河川改修を行なう。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	河川周辺住民の生命・財産を災害から守り、さらに安全で快適な地域となるよう、河川改修を行なうことは市の責務である。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	河川能力を現在の2.5倍に改修し、護岸等を自然の生態系に配慮した工法で実施することにより、当河川の治水対策及び良好な川環境を作る手段として、極めて有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	よし川は、自然環境や親水性を考慮した緩斜面護岸等を採用しており、他の河川工事で発生した川石を再利用するなどのコスト削減に努めており、さらに公共工事コスト削減対策に取り組む。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり	該当なし		
	事業を実施するには、準用河川改修事業では財政負担が多いため、県に二級河川への昇格申請を行ない、河川法第16条3に基づく協定により、都市基盤河川改修事業の補助(国1/3県1/3)を実施しており、負担金割合の見直しの余地は無い。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 <small>今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)</small>	1工区(一連区間L=720m)及び2工区(新幹線工区L=400m)は、多くの事業費と期間が必要であるため、関係機関との協議を重ね、計画的に事業を進める。
効果 <small>事業の改善・改革によって期待される効果は何か</small>	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。